

建屋周辺の地下水位、汚染水発生状況

2020年7月30日

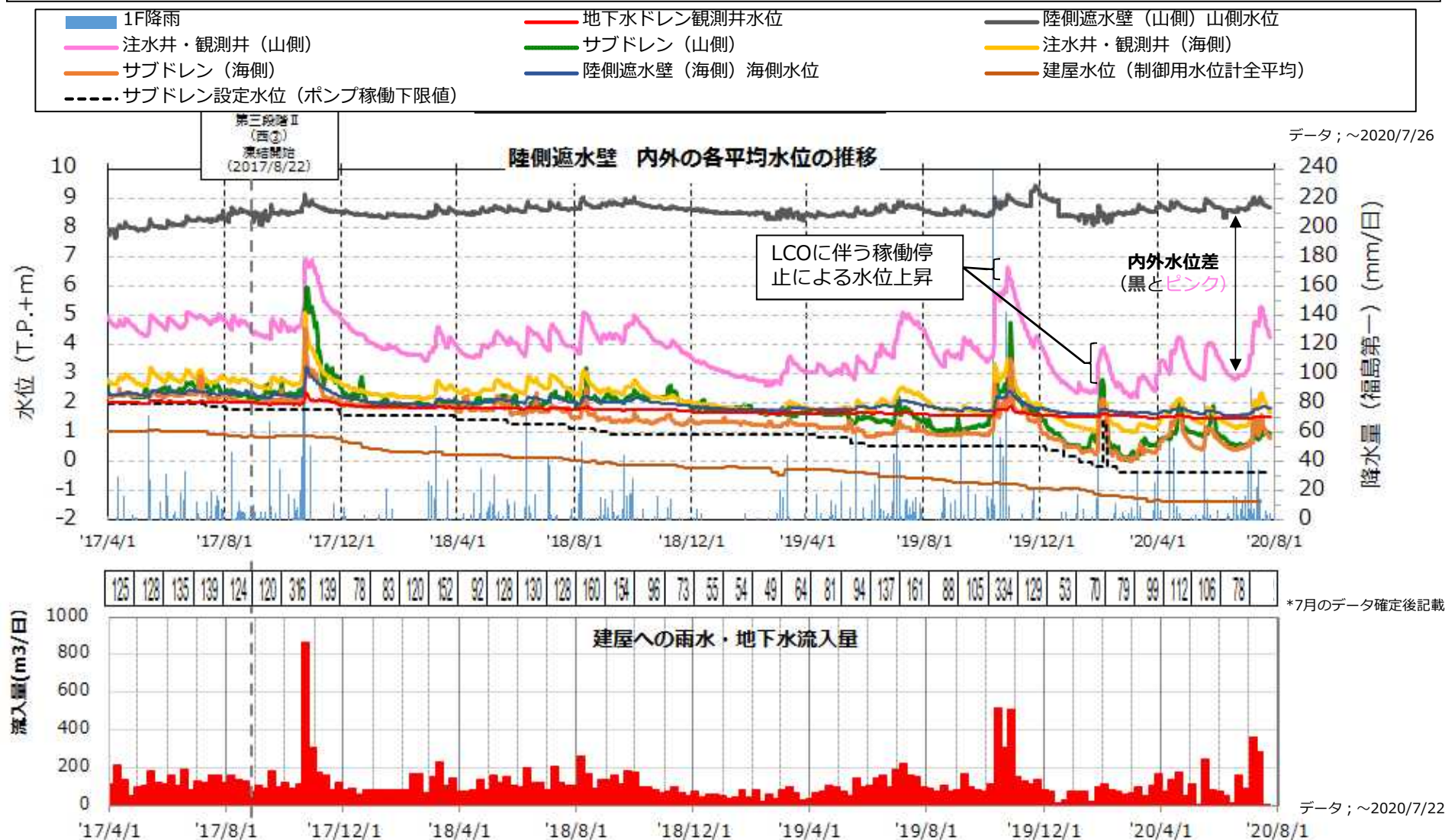
TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

1. 建屋周辺の地下水位、サブドレン等のくみ上げ量について	P2～3
2. 汚染水発生状況について	P4
参考資料	P5～18

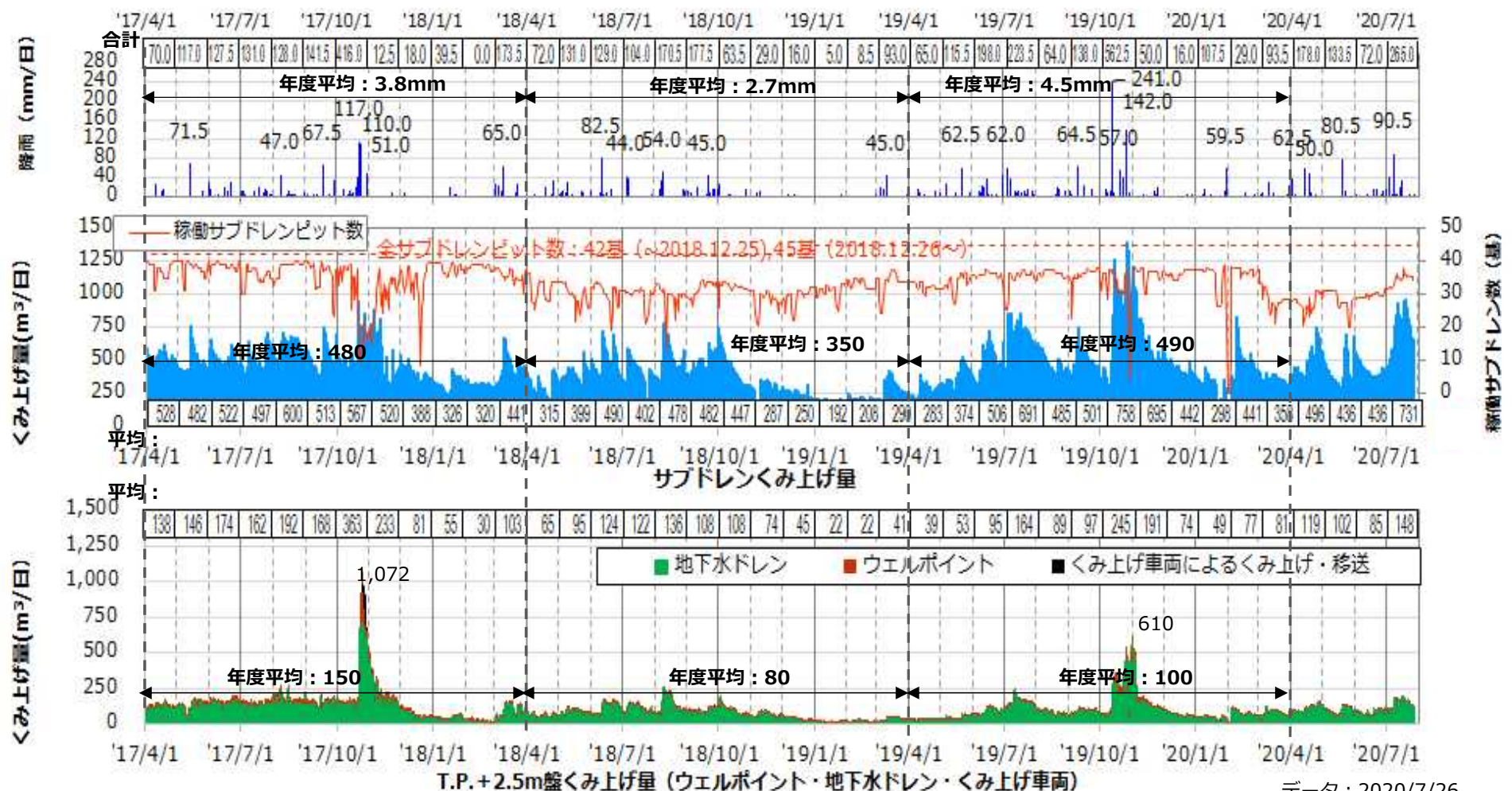
1-1 建屋周辺の地下水位の状況

- 陸側遮水壁内側エリアの地下水位は、年々低下傾向にあり、現状山側では降雨による変動はあるものの内外水位差を確保している。
- 地下水ドレン観測井水位は約T.P.+1.5 mであり、地表面から十分に下回っている（地表面高さ T.P.2.5m）。



1-2 サブドレン・護岸エリアのくみ上げ量の推移

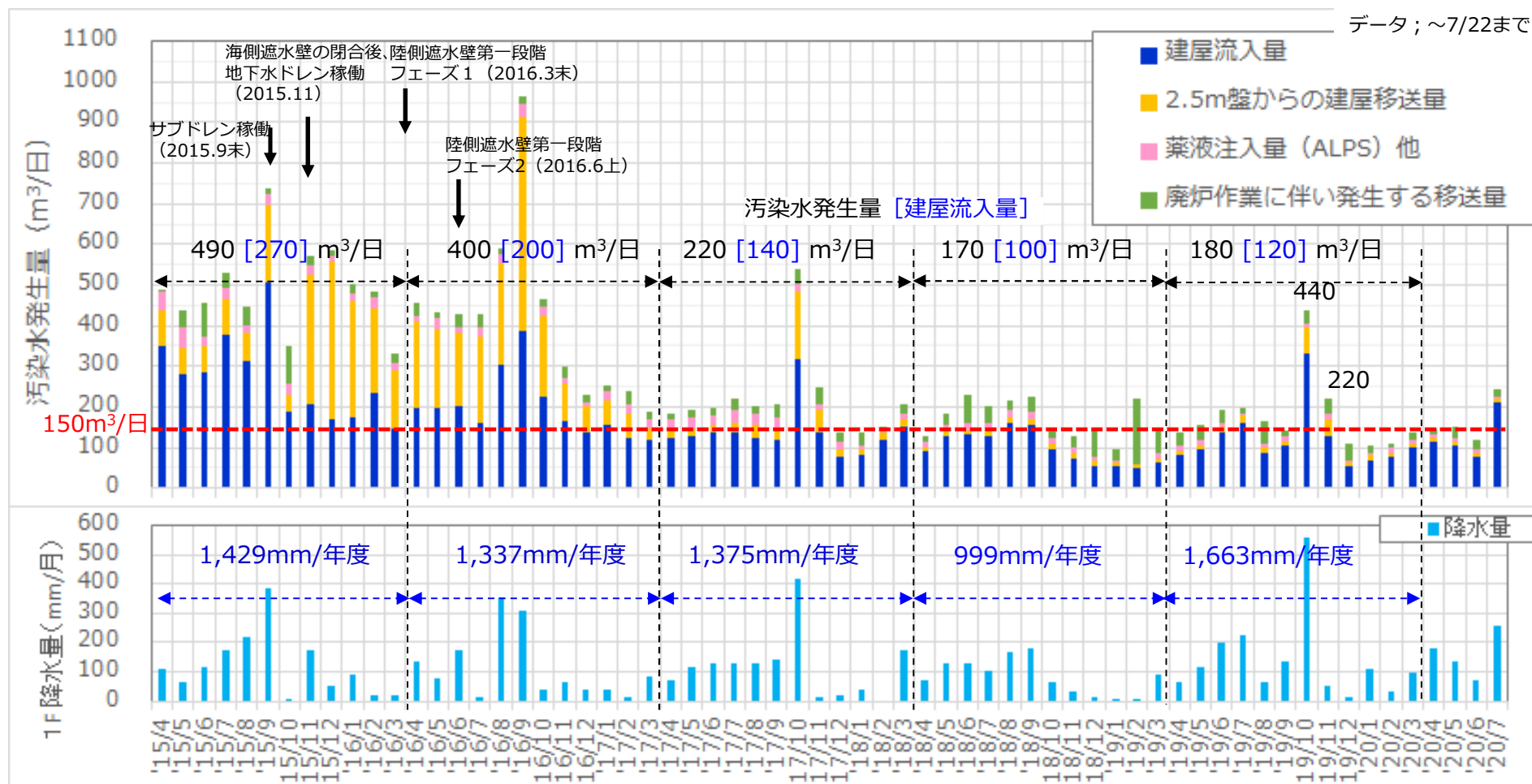
- 重層的な汚染水対策により、地下水位の制御性が向上し、特に渇水期においては、より少ないサブドレン稼働台数で地下水位を管理することが可能となっている。
 - 護岸エリア（T.P.+2.5m盤）においては、2019年12月～2020年7月の降雨量が多いこともあり（累計雨量889.5mm*1）、2019年12月～2020年7月までのくみ上げ量の平均値は約90m³/日だった。
- （参考）： 2018年12月～2019年7月の累計雨量；724.5mm、汲み上げ量平均；約60m³/日 *1 ~7/26データ



データ；2020/7/26

2-1 汚染水発生量の推移

- 陸側遮水壁、サブドレン等の重層的な対策の進捗に伴って、建屋流入量・汚染水発生量共に減少している。
- 冬期などの降雨量が比較的少ない時期には150m³/日を下回る傾向にあり、2019年度の降雨量は、2018年に比べて多いが（2018年度;999mm、2019年度;1,663mm）、汚染水発生量は2018年度と同等程度（2018年度;170m³/日、2019年度;180m³/日）で2015年度（490m³/日）の約1/3となっている。



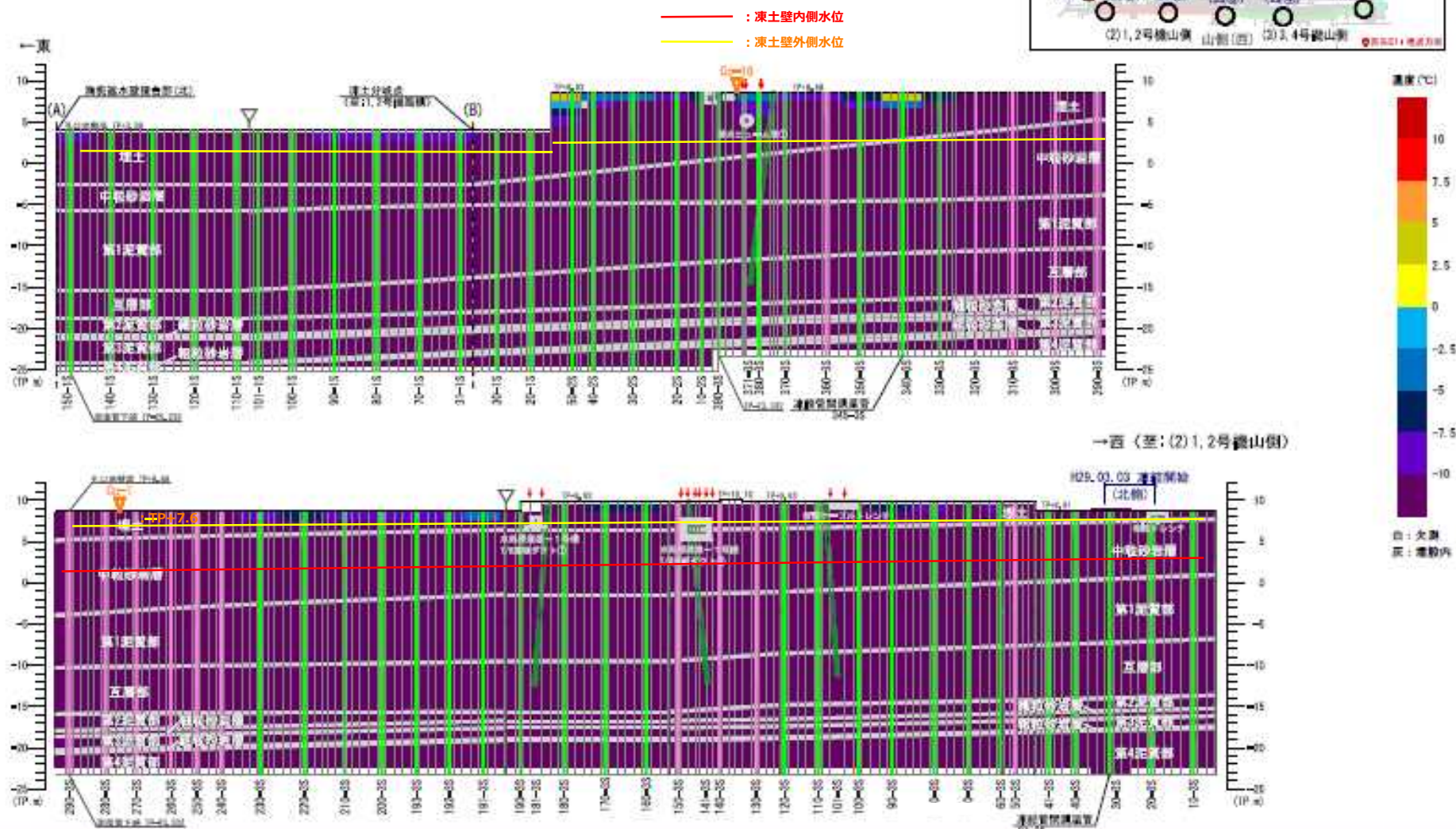
注) 2017.1までの汚染水発生量(貯蔵量増加量)は、建屋滞留水増減量(集中ラド含む)と各タンク貯蔵増減量より算出しており、気温変動の影響が大きいいため、2017.2以降は上表の凡例に示す発生量の内訳を積み上げて算出する方法に見直している。よって、2017.1までの発生量の内訳は参考値である。

雨量データ; ~7/26まで

【参考】 地中温度分布および
地下水位・水頭の状況について

(温度は7/28 7:00時点のデータ)

: 測速管 (測土ライン外側)  ; RW (リテーナージュール)
 : 測速管 (測土ライン内側)  ; CI (中粒砂層, 内側)
 : 測速管 (複利層側)  ; Co (中粒砂層, 外側)
 : 複利部連結管  ; 凍土折れ点

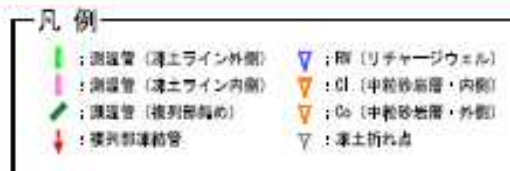


【参考】 1-2 地中温度分布図（1・2号機西側）

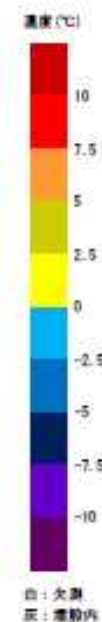
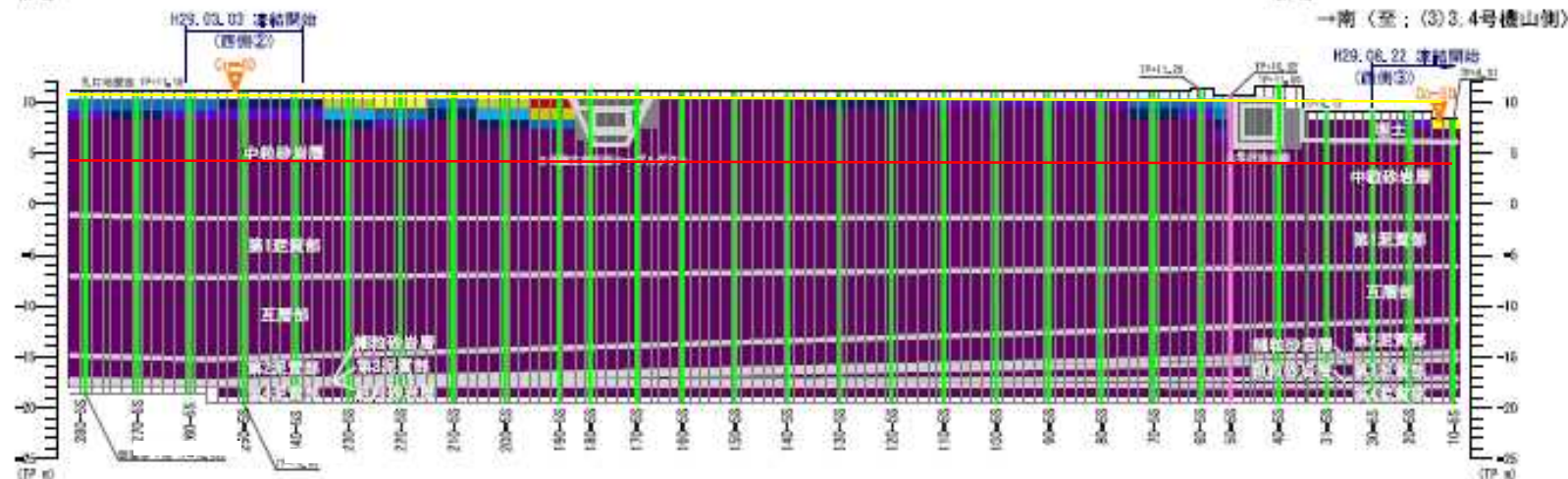
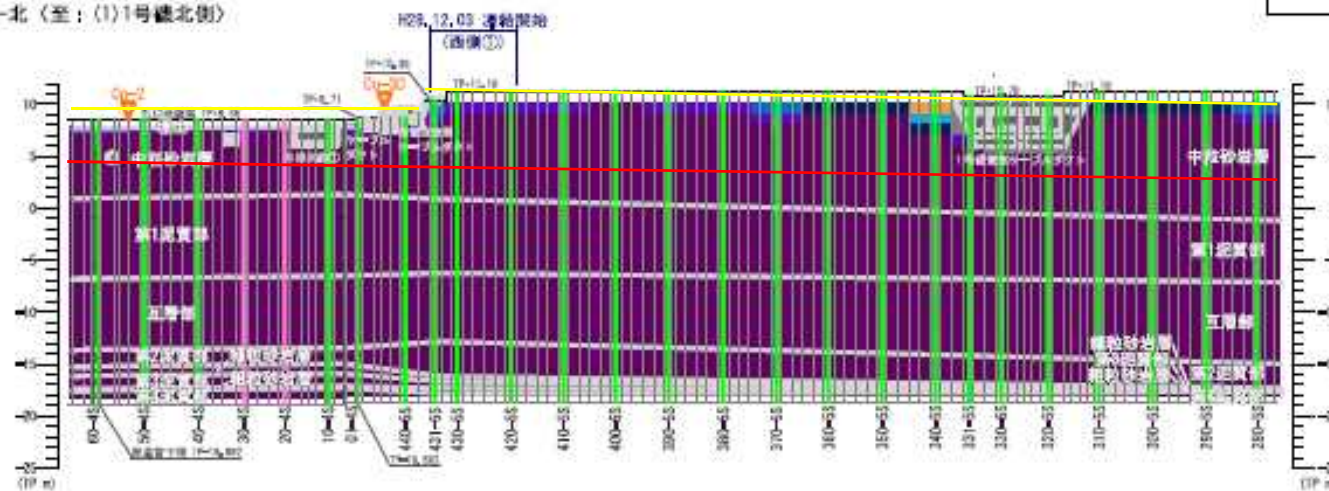
■ 地中温度分布図

(2) 1, 2号機山側（西側から望む）

（温度は7/28 7:00時点のデータ）



→北（至：(1)1号機北側）

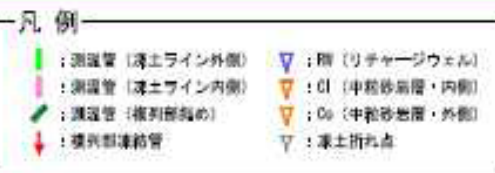


【参考】 1-3 地中温度分布図（3・4号機西側）

■ 地中温度分布図

(3) 3,4号機山側（西側から望む）

（温度は7/28 7:00時点のデータ）



— 凍土壁内側水位
— 凍土壁外側水位

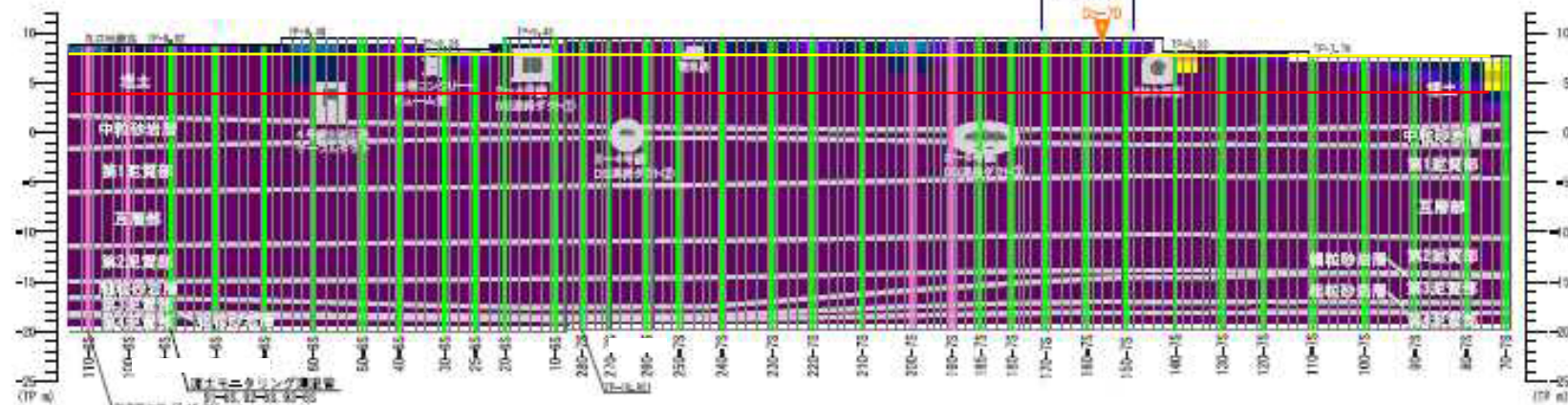


←北（至：(2) 1,2号機山側）
（西側③）



H28.03.03 凍結開始
（西側④）

→南（至：(4) 4号機南側）

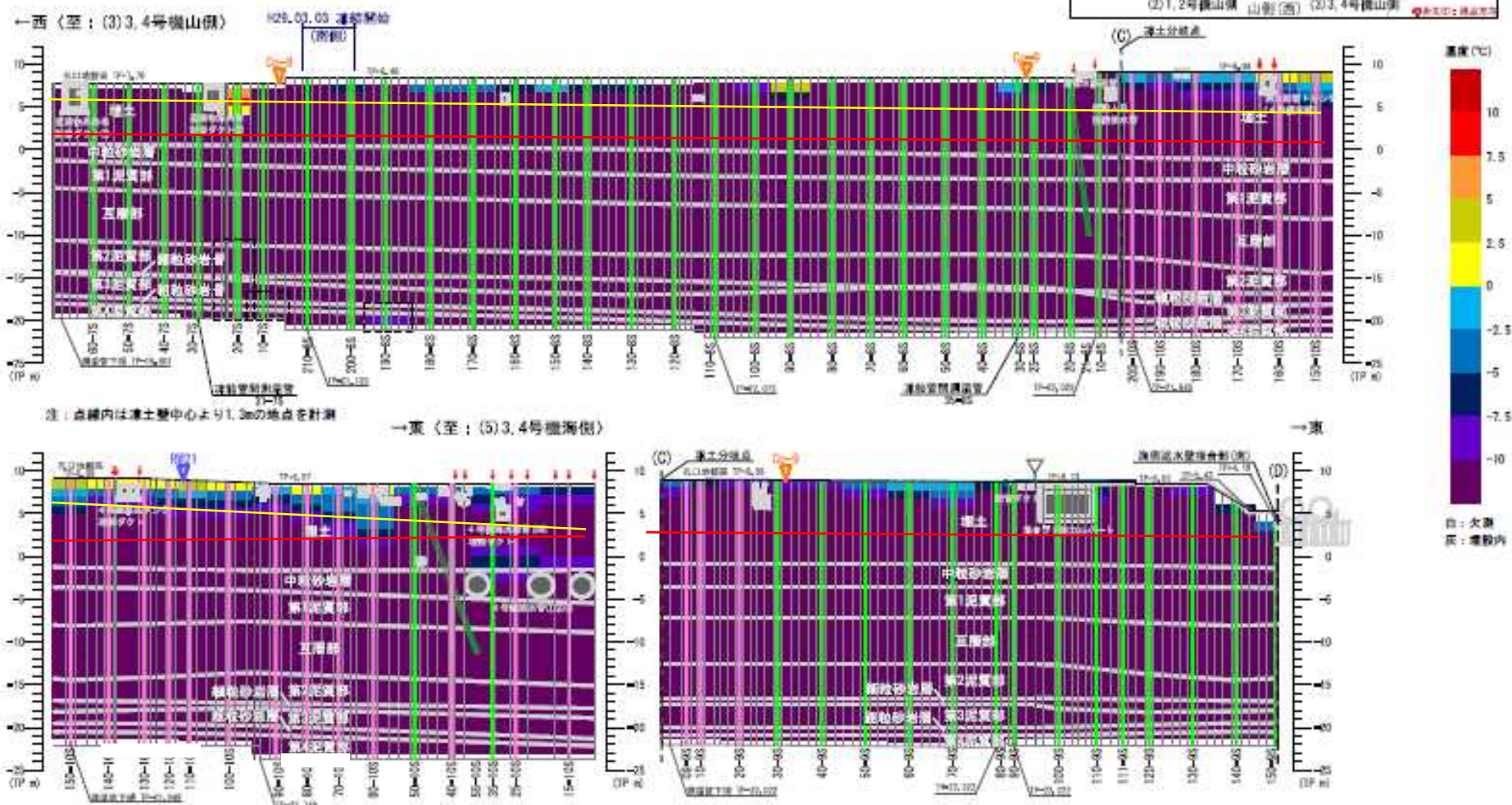
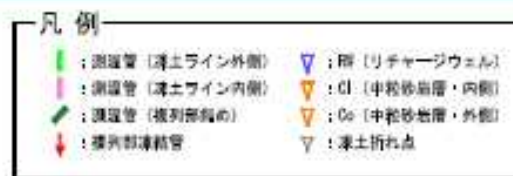


【参考】 1-4 地中温度分布図（4号機南側）

■ 地中温度分布図

(4) 4号機南側（南側から望む）

（温度は7/28 7:00時点のデータ）

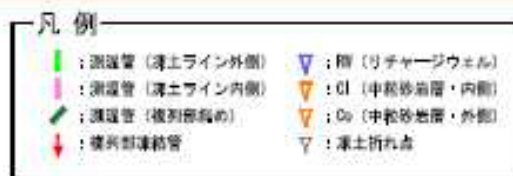


【参考】 1-5 地中温度分布図（3・4号機東側）

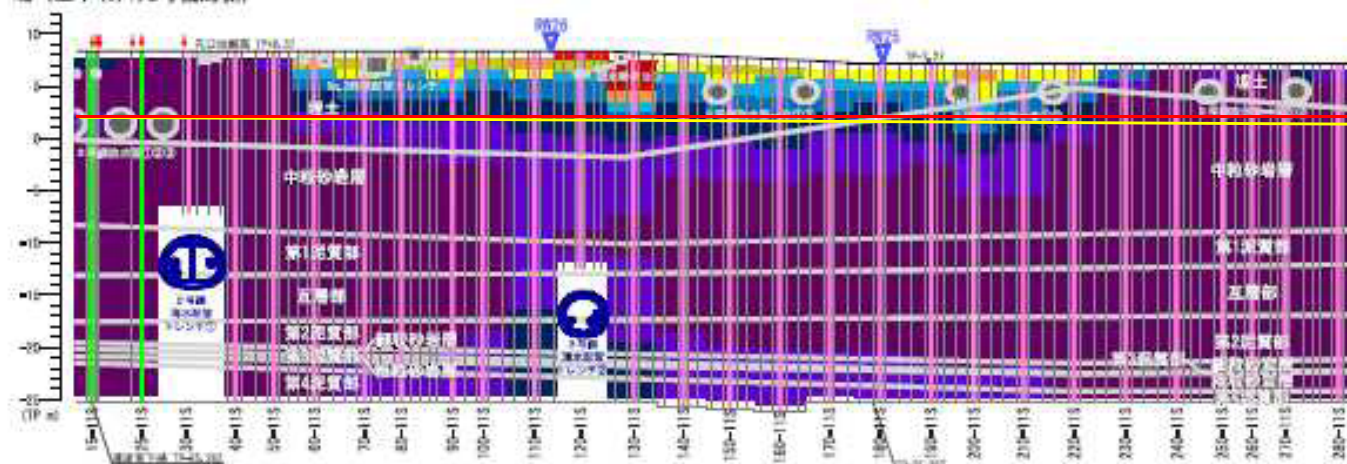
■ 地中温度分布図

(5) 3,4号機海側（西側：内側から望む）

（温度は7/28 7:00時点のデータ）



←北（至：(5) 1,2号機海側）



→南（至：(4) 4号機南側）

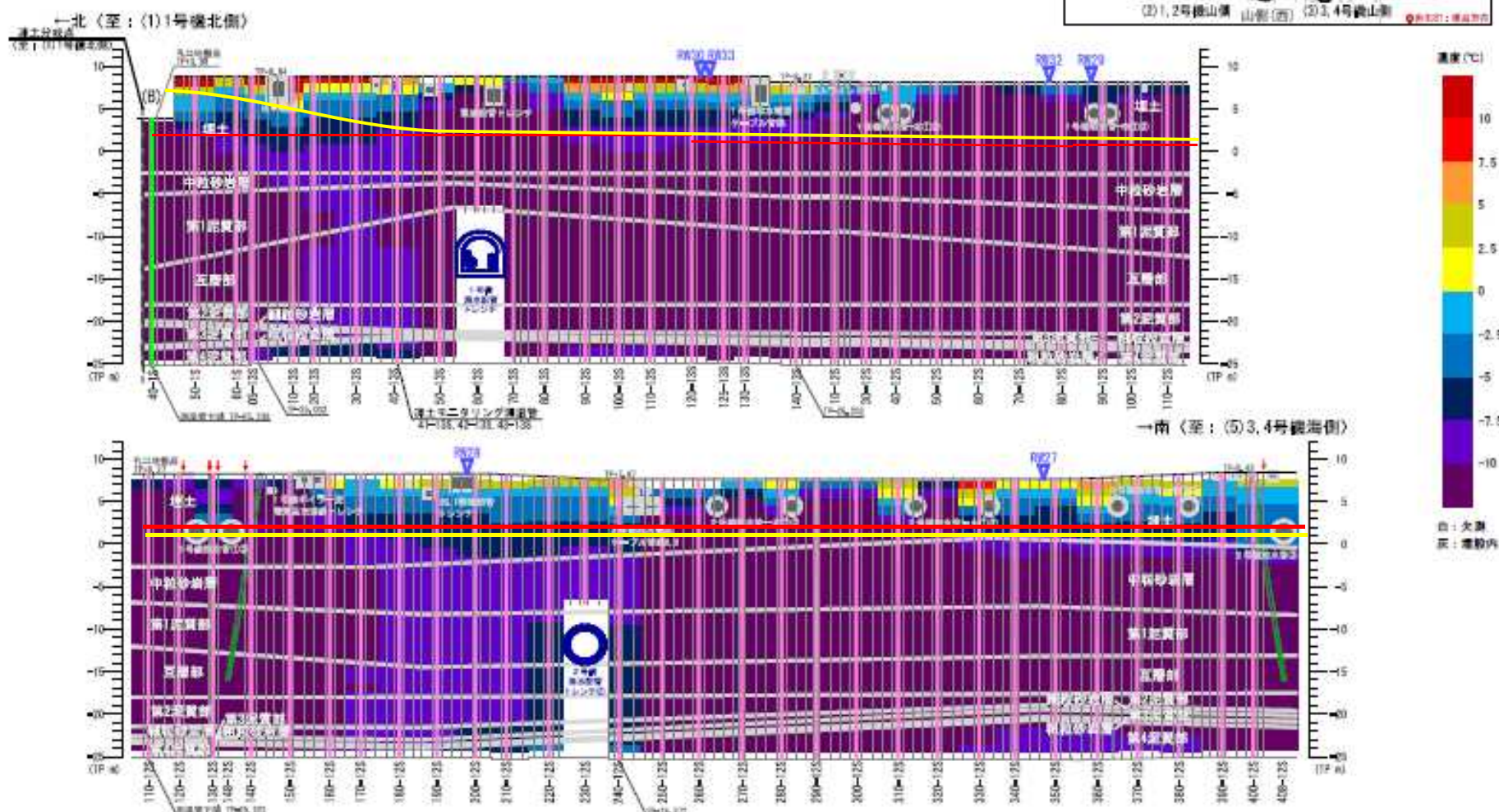
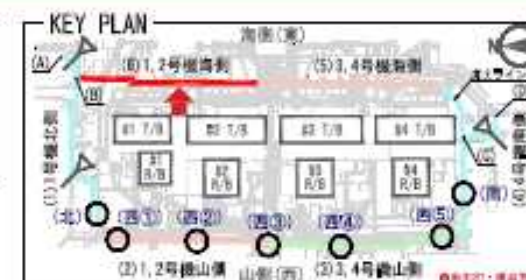
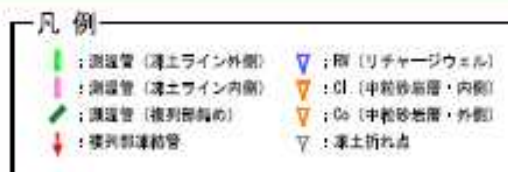


【参考】 1-6 地中温度分布図（1・2号機東側）

■ 地中温度分布図

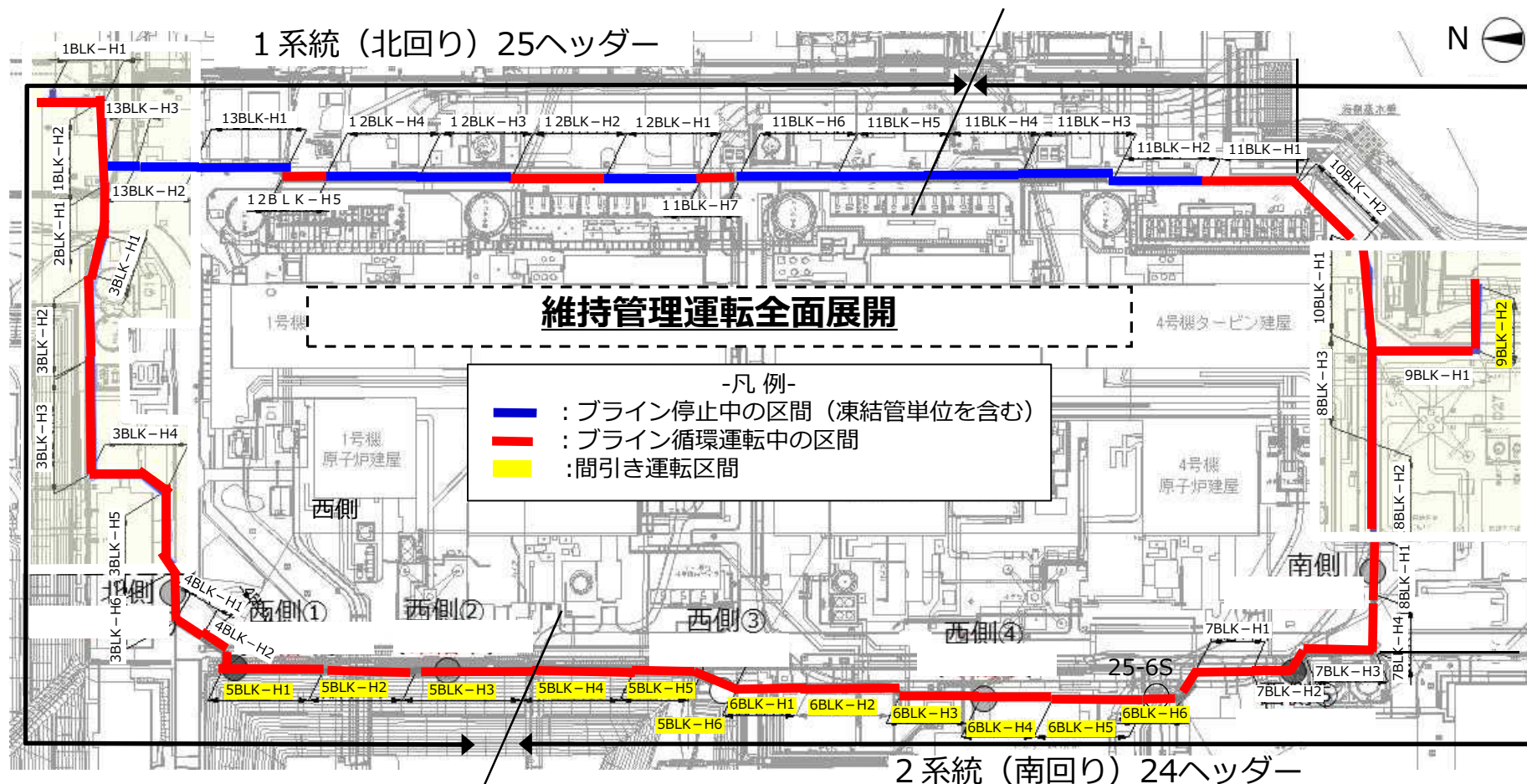
(6) 1,2号機海側（西側：内側から望む）

（温度は7/28 7:00時点のデータ）



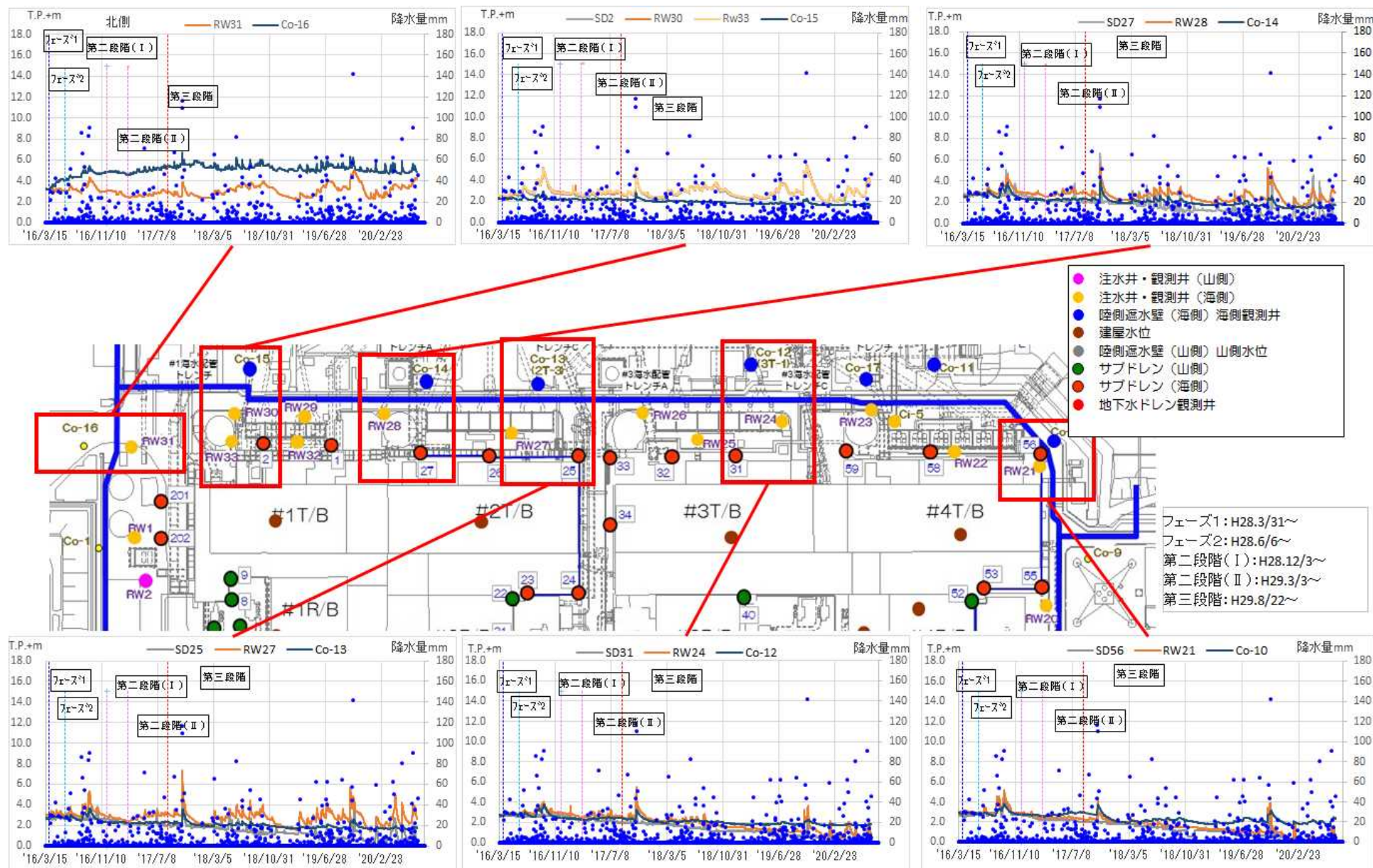
【参考】 1-7 維持管理運転の状況（7/28時点）

- 維持管理運転対象全49ヘッダー管（北回り 1 系統25ヘッダー、南回り 2 系統24ヘッダー）のうち、11ヘッダー管（北側0，東側11，南側0，西側0）にてブライン停止中。



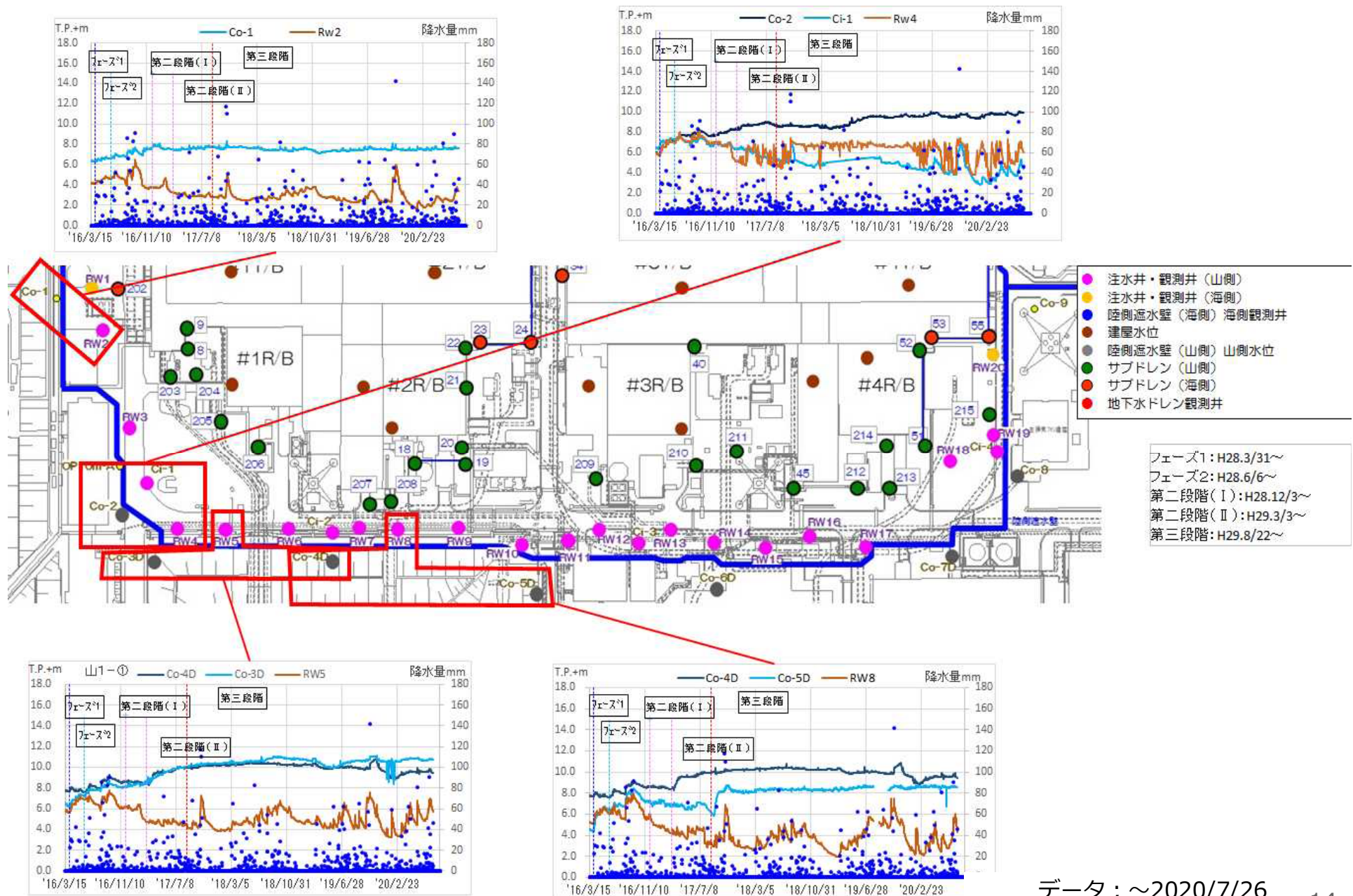
- ※ 全測温点-5℃以下かつ全測温点平均で地中温度-10℃以下でブライン循環を停止。ブライン停止後、測温点のうちいずれか1点で地中温度-2℃以上となった場合はブラインを再循環。なお、これら基準値は、データを蓄積して見直しを行っていく。
- ※ 間引き運転区間5K-H5については大芋沢排水路周辺を除く。山側 6 BLKについても間引き運転を拡大。

【参考】 2-1 地下水位・水頭状況（中粒砂岩層 海側）



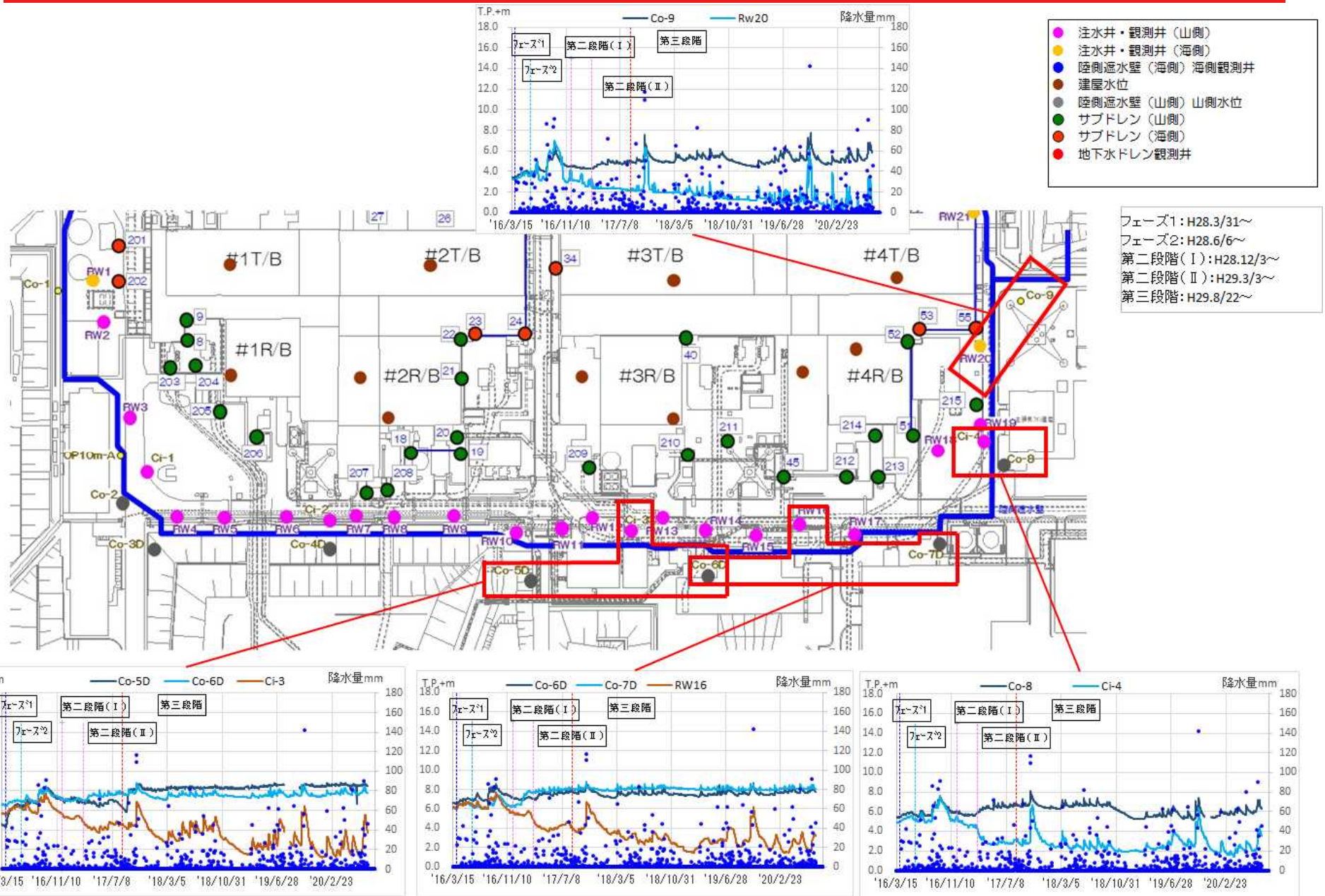
データ ; ~2020/7/26

【参考】 2-2 地下水位・水頭状況（中粒砂岩層 山側①）

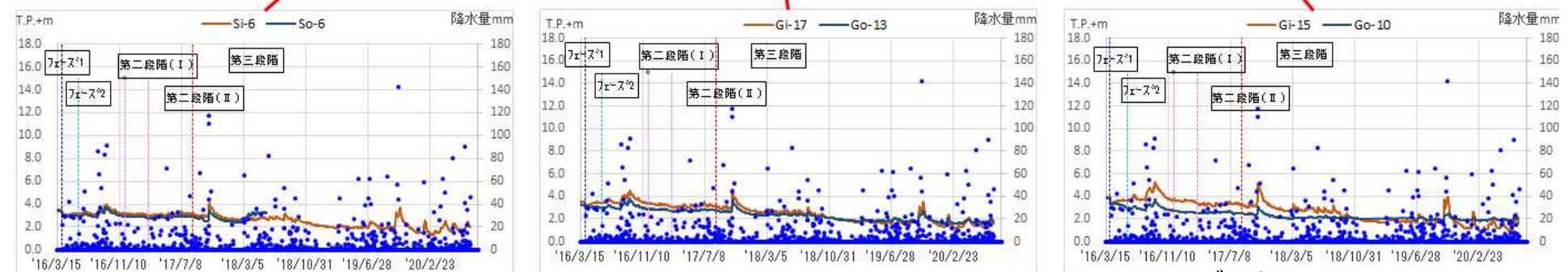
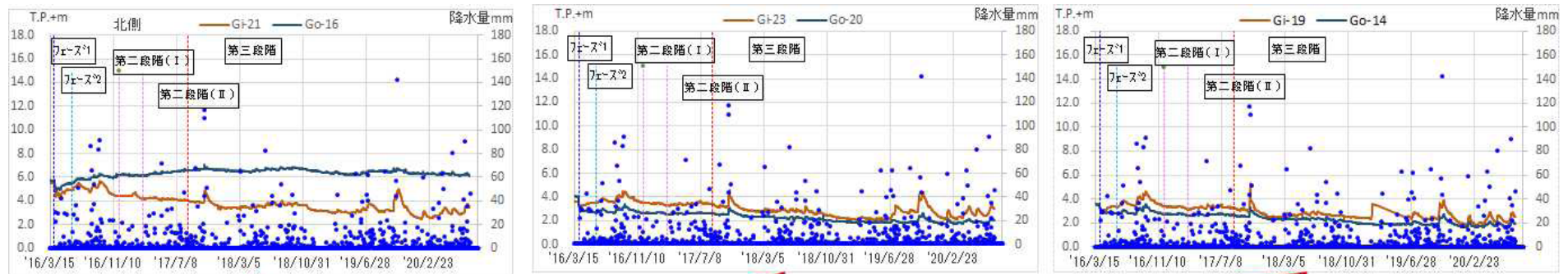


データ ; ~2020/7/26

【参考】 2-3 地下水位・水頭状況（中粒砂岩層 山側②）

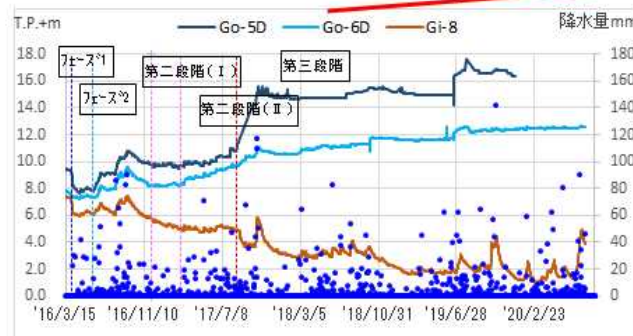
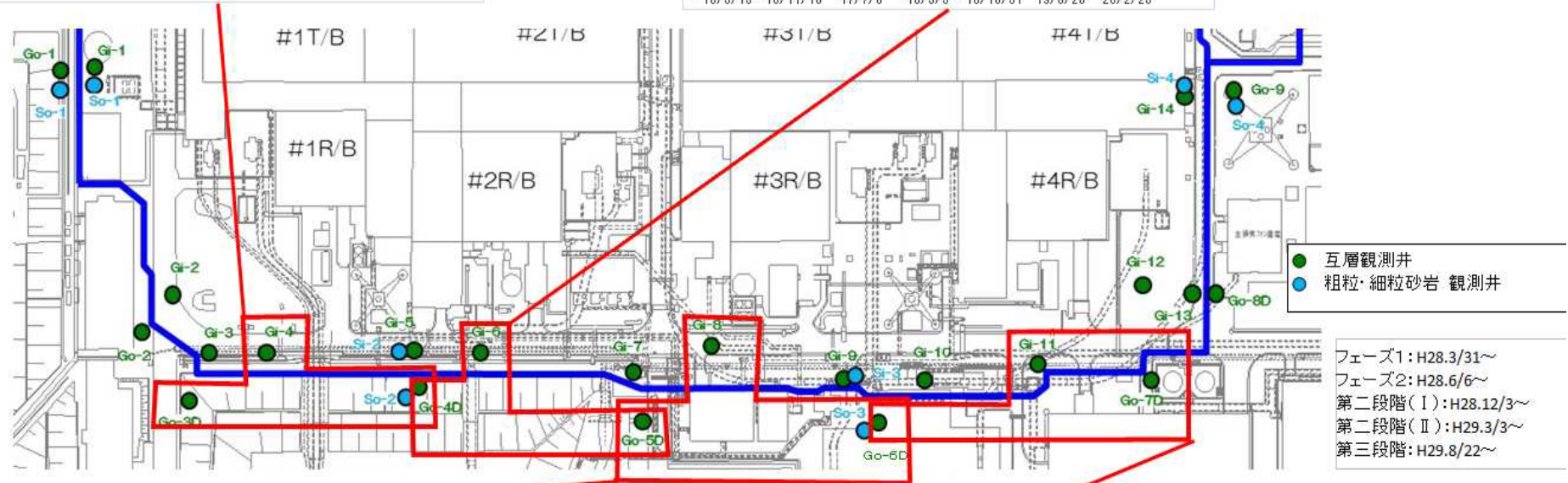
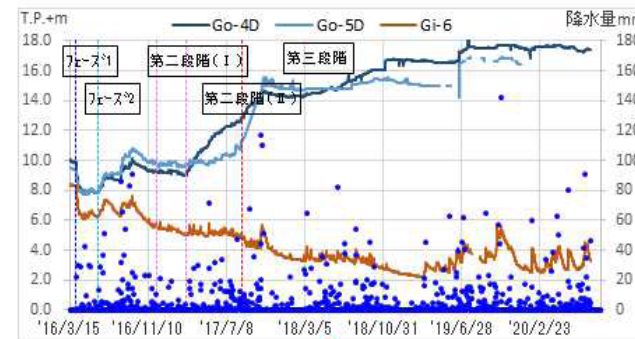
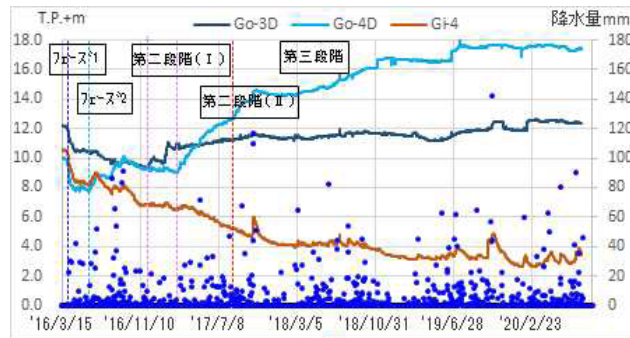


【参考】 2-4 地下水位・水頭状況（互層、細粒・粗粒砂岩層水頭 海側）TEPCO



データ ; ~2020/7/26

【参考】 2-5 地下水位・水頭状況（互層、細粒・粗粒砂岩層水頭 山側）



データ ; ~2020/7/26

【参考】サブドレン・注水井・地下水位観測井位置図

